

EnviX 会社案内

Environment, Energy and Water

EnviX

エンヴィックス株式会社

03 - 5928 - 0180, contact@envix.co.jp

<http://www.envix.co.jp/>

独立・中立でグローバルな 環境・エネルギー・水分野の 情報サービス&コンサルティングカンパニーへ

信頼性のある海外情報源
世界の様々な言語に対応
専門家による情報の選択・分析
正確で分かりやすい解説

顧客の環境コンプライアンスをサポートする
価値ある情報(インテリジェンス)の提供

一つ一つの情報に
エンヴィックスの思いが込められています。

代表メッセージ

2018年5月

エンヴィックスは1994年の設立以来、「環境とエネルギー分野を中心に、経営戦略策定に際し、信頼される情報を提供できるグローバルネットワーク企業」を目指して奮闘してまいりました。そして2018年現在、アフリカなど一部の国や地域を除き、ほぼ世界全地域にパートナーを擁し、現地の情報を入手し日本語でお客様にご提供できる態勢を整えてまいりました。

当社は、パートナーとして環境・エネルギー分野の専門家だけでなく、外国政府の規制策定に携わる高官からもサポートをいただいております。そうしたパートナーの数は年々増えております。また、海外の企業で働く傍ら、現地の貴重な情報を収集・選別し送ってくださるパートナーもいらっしゃいます。

今後も当社は、「お客様の経営戦略策定に真に役立つ環境・エネルギー規制&市場関連情報」を提供する情報サービス会社として進化して参ります。

2016年はじめにはタイ・バンコクにジョイントベンチャー企業を設立し、現地の情報収集・発信拠点として、また環境監査を含む環境規制コンサルティングサービスのみならず土壌浄化に係るエンジニアリングサービスを提供する拠点として、事業を展開いたします。今後は、中国やベトナムでも拠点の整備拡大を計画しており、順次具体化してゆきます。

最後に当社は、「信頼される環境法規制情報」とは、現在だけでなく今後いっそう重要性を帯びるとされる規制動向や先進企業の環境戦略情報を継続的、かつ体系的に提供することであると理解し、情報の収集・作成に当たっております。そのために、常に次のことが肝要であると認識し、それらをさらに強化してゆく所存です。

- 海外の様々な言語に対応でき、文化・政治にも深い理解と知見を有する国内スタッフを育成すること
- 海外パートナーの拡充、特に政府の規制官やスタッフとの連携体制を強化すること
- 既に提供しているトレンドレポートや各国別の環境法体系ガイドなど、膨大な情報を体系的に整備した情報製品の開発を強化すること
- お客様の海外工場などの環境監査支援や国内外でのセミナー開催等を通じて、お客様のニーズの広くかつ適確に把握すること



エンヴィックス代表取締役
中里純啓 (なかざと よしひろ)

アメリカ国際経営大学院で国際経営修士取得。AMEC日本法人で海外環境政策や環境市場調査を多数実施。1994年にエンヴィックス社を創設、現在に至る。

エンヴィックス株式会社	
英文名	EnviX, Ltd.
代表者	中里 純啓
設立年月日	1994年3月10日
所在地	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32-9 西島ビル4階
電話	03-5928-0180
FAX	03-5928-0184
MAIL	contact@envix.co.jp
URL	http://www.envix.co.jp/
資本金	7,600,000円
主要取引金融機関	三井住友銀行、巣鴨信用金庫、大東京信用組合
従業員数	10名
事業内容	主な取引先
環境・エネルギー・水ビジネス分野の情報収集、委託調査およびコンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内大手電気電子機器メーカー ・ 国内自動車メーカー、自動車部品メーカー ・ 水処理機器メーカー、重工業メーカー ・ 産業組織 (JEITA、JBMA、電池工業会、電力中央研究所 他)



J R山手線大塚駅南口より徒歩2分

サービスの御案内（1）

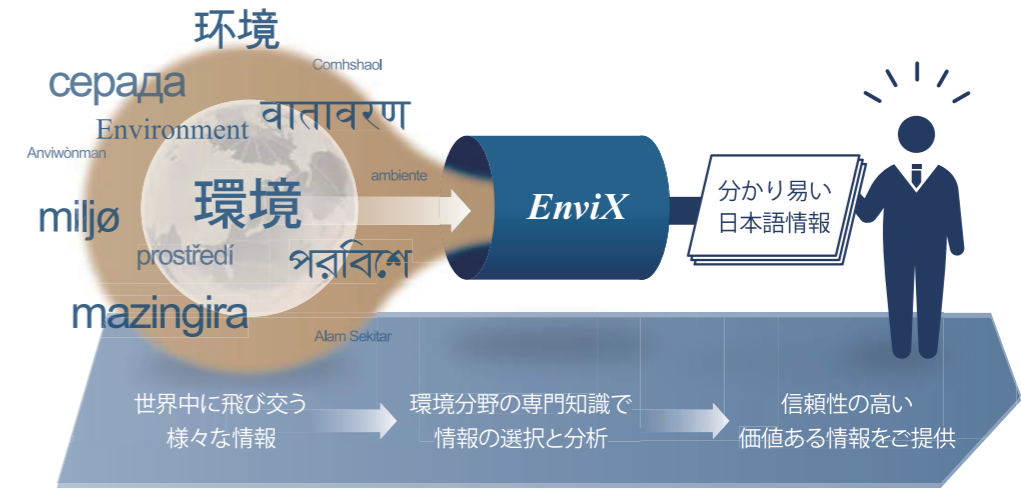
私たちがカバーするエリアと分野

「●」はエンヴィックスの海外パートナー



環境規制テーマ		
製品	廃電気電子機器、電池	化学物質
	自動車全般	省エネ、製品設計・ラベル
	廃棄物、リサイクル、容器・包装材	グリーン調達
工場、施設等 海外事業運営他	労働安全衛生	大気汚染、水質汚染、土壌汚染
	クリーンエネルギー推進	気候変動政策および関連法規制
	CSR、環境企業格付け	生態系・生物多様性
	環境政策全般	その他の環境規制全般(騒音、悪臭、振動)
その他の分野		
環境市場・環境技術動向	水ビジネス市場	エコカー(EV,PHEV,FCV)、LiB等

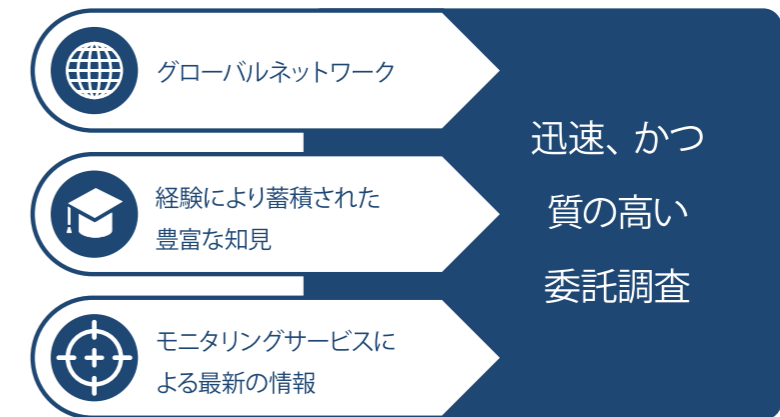
1. 海外環境法規制モニタリングサービス



エンヴィックスは、世界中の膨大な情報から、環境分野の専門性をもとに、環境法規制対応、環境戦略に大きな影響を与える情報を厳選し、正確、かつ迅速にお客様に御提供いたします。

毎月、約150件、年間約1800件の情報を日本を代表するグローバル企業様へ配信中。
2010年以降の全情報を収載したデータベースには2018年4月末時点で約1万3800件程の海外環境法規制に関する記事が、収載されております。月例レポート、速報記事配信、サマリー・レポートなど多彩な提供形態をご用意しております。

2. 委託調査とコンサルティング



個別のお客様の御要望に細かく対応いたします。
調査の開始時にはヒアリングを通じてお客様のニーズを的確に把握し、独立系調査会社ならではの秘匿性の高い調査とコンサルティングを行ないます。

3. 海外環境法規制トレンド・レポート

世界主要国における環境法規制の直近6ヶ月から1年間の動向を中心に調査し、ご報告する調査報告書です。

各地域あるいは国において重要な動きが見られた主要な環境法規を選定し、その動向の現状と今後の主な展開を簡潔に概説することで、全体の動向や展望を把握できます。

■分野別アプローチ：4つの基本分野

- ①製品系の規制(WEEE、RoHS 指令、エコラベル、ErP、エネルギー効率)
- ②生産系(事業所系)の規制(大気汚染防止法、水質汚染防止法、廃棄物管理法、土壌汚染 対策法など)
- ③化学物質関連規制(REACH、TSCA、GHS、オゾン層破壊物質など)
- ④企業管理・CSR 関連の規制(EMAS、労働安全衛生、PRTR など)

■構成

- ①バックグラウンド情報：各規制の基礎情報や経緯をコンパクトに記述
- ②最近の動向：直近 6ヶ月～1 年以内の動向を時系列でまとめ記述
- ③今後の展開とスケジュール：改正の動向などに関する信頼性の高い情報をベースに客観的に報告・解説
- ④エンヴィックスの見解と展望：研究員の見解としてまとめた総括

5. 環境監査支援サービス

近年増加傾向にある海外拠点の環境コンプライアンス違反、罰金、操業停止等の環境リスク回避の対策として、環境監査(自主監査)支援サービスをご提案いたします。

1. 海外拠点における環境コンプライアンス監査用チェックリストの作成

■大気、水、土壌の汚染、廃棄物、化学物質の管理、労働・安全衛生などの環境側面について、チェック事項を質問形式で記載

■中国語やスペイン語の現地語、ご要望に応じ英語や日本語で作成

■より詳細な確認のために、現地準拠法のURLのリンクを添付

2. 海外拠点、工場における環境コンプライアンス監査実施の支援

■現地における許認可証などのドキュメントチェック

■現地工場の工程実査、ヒアリング

■監査報告書の作成

環境側面	条項		チェック事項/質問事項	参考URL(原文リンク)	
	法令名称	法令 施行令		法律 施行令	
水質汚染 水資源	①エコロジー均衡及び環境保護法の、大気汚染防止に関する施行令	①30条		水資源の使用権を取得しているか、また使用権は登録されているか	http://www.diputados.gob.mx/LeyesBiblio/pdf/16_240316.pdf
	②エコロジー均衡及び環境保護法の、汚染物質排出移動に関する施行令				
	③間接燃焼機からの大気汚染物質排出最大許容量と測定方法を規定する規約	④44条 VII		水使用権で規定されている使用量を遵守しているか	http://www.diputados.gob.mx/LeyesBiblio/regley/Reg_14N_253_814.pdf
	④エコロジー均衡及び環境保護法の汚染物質排出移動に関する施行令				http://www.diputados.gob.mx/LeyesBiblio/pdf/16_240316.pdf
	⑤国家の水域に排水される汚水の汚染物質最大許容量を規定する規約	⑥NDM 4.14		汚水の分析を実際し、サンプリング日から最低3年間分析検査結果を保持しているか	http://www.diputados.gob.mx/LeyesBiblio/pdf/16_240316.pdf

5 チェックリストサンプル(日本語版)

4. 国別環境法体系ガイド

特定の国ごとの環境法体系(枠組み)を示した体系的理解に役立つガイド。環境規制分野全体のまとめから個別規制の概要までを整理しております。

環境に関する基本政策や基本的な環境法(環境保護法など)の解説から始まり、製品系環境法規制(化学物質規制、省エネ規制、廃棄物管理、エコラベル制度、リサイクル規制など)、および工場系環境法規制(大気汚染規制、水質汚染規制、土壌汚染規制、労働安全衛生規則など)に至る環境分野全体を対象に次の事項をまとめております。

- ①最近の規制政策動向
- ②法律の制定プロセスや所轄機関などの解説。
- ③規制マップや主な規制のリスト(タイトルとURL)
- ④主な規制の概要
- ⑤一部のガイドでは、現地語、英文及び日本語の規制原文も添付

2018年5月時点で14カ国のガイドをご紹介します。

タイやインドなど特定の国については、関連データベースもご用意し、さらにご活用いただきやすい形でのサービスをご紹介します。

6. 水ビジネス・ジャーナル — E W B J

日本で唯一の水ビジネスに特化した情報サービス。

四半期に一度のレポートに加えて、2008年以降の世界中の水ビジネスに関する情報を集約したWEBデータベースを提供します。

上下水道設備や海水淡水化プラント等の水インフラ施設の建設・運営事業、工業排水の再利用、スマートウォーターといったビジネスに直結する世界の企業動向、規制・政策動向はもちろんのこと、世界各地の水資源管理や水問題についても幅広くお伝えします。



水ビジネスジャーナル・ウェブサイト画面

EnviX Asia Co., Ltd. (タイ・バンコク)

エンヴィックス有限会社は、2016年にタイ・バンコクにEnviX Asia Co., Ltd.(エンヴィックス・アジア)を設立いたしました。エンヴィックス・アジアは、「エンヴィックス有限会社」、「株式会社ヤマキ環境」および「現地の環境専門家(タイ人)」が出資する合弁会社です。タイ・バンコクの中心部にオフィスを構え、タイおよび周辺のASEAN諸国において、日系企業を中心に環境規制対応、ビジネス展開をサポートしております。

会社概要

社名	EnviX Asia Company Limited
代表者	中里 純啓
設立	2016年3月31日
資本金	2 Million THB (約 700 万円)
人員体制 (2018年6月現在)	日本人 3名 (うち常勤 1名) タイ人 6名 (うち常勤 5名)
有資格者 (2018年6月現在)	【日本】技術士(環境)、計量士(環境・一般)、公害防止管理者(水質 1種)、産業廃棄物処理施設管理者、土壌汚染調査技術管理者 【タイ】エンジニア(環境)、公害防止管理者(水質、大気、廃棄物)、上級エネルギー管理士
事業内容	(1) 環境エンジニアリングおよび環境測定分析事業 ✓ 土壌・地下水の調査、修復 ✓ 環境測定・分析(土壌、地下水、排水、排ガス、職場環境等) (2) 環境・エネルギー分野におけるリサーチ&コンサルティング事業 ✓ 環境・労働安全衛生関連法規制対応(環境監査支援サービスなど) ✓ 化学物質規制対応サポート(届出、許認可等の申請代行など) ✓ 環境担当者の教育・トレーニング研修
所在地	タイ・バンコク
TEL	+66-(0)20775058 +66-(0)92-997-8900(日本人直通)
Email	contact@envix-asia.com
Website	https://jp.envix-asia.com

<主要サービス>

■ 土壌・地下水の調査、修復

タイでは2016年に土壌・地下水汚染を規制する新たな法令が制定されました。エンヴィックス・アジアは、法規制対応または土地取引等に伴う自主調査を行いたいお客様に、土壌・地下水に係るサービスをタイ現地にて提供しております。

■ 環境・労働安全衛生関連法規制対応(環境監査支援サービス)

タイおよび周辺国における事業所の環境・労働安全衛生法規制対応をサポートいたします。タイの法令に精通した日本人および現地の専門家が、現地語で記載された書類の確認や実務対応のためのアドバイスを提供いたします。

■ 化学物質規制対応サポート(届出の代行支援など)

タイ国内における化学物質規制対応のための書類準備・作成をお手伝いいたします。タイ国での有害物質登録、関連許可取得など、必要手続きをタイ現地にてサポート可能です。